

アイデアカーフェスタ2019 イベントレポート

今年も多く参加者と見学者の方が工学部陽東キャンパスに集いアイデアカーフェスタ2019を開催しました。今年のエントリー数は102車両、当日走行数83車両でした。内訳としてキットカークラス76車両（キッズ31、ジュニア37、一般8車両）、オープンクラスは7車両でした。参加回数では初参加が71名、リピーターが31名でした。

最大の注目を浴びたのは何と言っても大会新記録の続出。昨年までキットカーキッズクラスで出場していた”ハルキング3号”は本年度ジュニアクラスで出場。例年5秒台で優勝するところのタイムを大幅に上回る4.50秒という脅威のタイムを打ち出しました。後を追う昨年度優勝の”隼改”の記録は4.51秒。わずか0.01秒という紙一重の差で”ハルキング3号”が勝ちきり優勝を飾りました。その他のクラスの優勝タイムはキッズクラスが6.07秒、一般クラスが5.28秒、オープンクラス5.24秒。上位2名のタイムはこれらと比較しても断然に速い記録を樹立し、スタッフも驚きの名勝負が会場を大いに沸かせてくれました。

キッズクラス優勝の”ファルコン号”、3位の”ヘルガ号”はともに1走目でゴールしきれず残り1本の2走目に望みを託すのみとなりましたが好タイムを出すことができ、それぞれ、6.07秒、6.80秒で入賞を果たしました。準優勝の”アウストロベナトル号”も1走目タイムを0.88秒速め6.43秒でゴールし喜びの表情を見せてくれました。

キットカー一般クラスは若干エントリーが少なかったものの、フェスタ顔なじみとなった”RX-7 Sora Special”は唯一5秒台を出し優勝。タイムは5.28秒。さらには青く塗られたスポーティな車両はデザイン賞も獲得しました。

一方オープンクラスではエントリーが増えユニークな車両が出揃いました。中でも”坂東太郎”の洗練されたデザインと手の込んだ塗装が本来のキットカーの姿を思わせる車両に仕上がり、タイム的には上位には食い込めなかったものの、その見事なフォルムが認められアイデア賞が贈られました。優勝を手にした”DeLorean 午後10時04分”のタイムは5.24秒。ちなみに昨年度はキットカー一般クラスで優勝し記録は6.55秒でした。また、昨年のエントリーで残念ながらゴールできなかった”今年”はゴールする号”は再チャレンジでゴールすることができました。オープンクラスは自由な発想で製作するのがコンセプト。軽量化やパーツを強化するなど参加者の創意工夫が審査員の目を楽しませました。

開場から開会式までの様子

参加者は受付でゼッケンを受け取り、車検場で車両の規定違反がないかチェックを受けます。ほとんどが車両製作後に広い場所で走らせる機会がないため、開会式までの時間はコースが開放されフリー走行をすることができます。そばで担当のスタッフがスタートの仕方を教えてくれます。タイムは計測されません。大会中、車両に不具合があればピットで対応してくれます。



受付



大会前の参加者控え



車検場



出走情報はこちらでチェック



フリー走行の待機エリア



フリー走行

開会式からレース本番までの様子

開会式では長谷川ものづくり創成工学センター長の挨拶の後、スタートの方法やフライングなどについてのレースの方法や競技の流れが説明されました。参加者は受付で配布されたブリーフィング資料に良く目を通します。このあとレース本番さながらにゼッケン番号順に練習走行が行われました。本番が近づくにつれ、参加者もスタッフも緊張が高まります。



開会式



競技説明を聞く参加者



競技の流れを確認中



練習走行の順番待ち



スタッフもスタンバイOK!



走行前にゴムを巻いて待機します

レース本番

レースはAコースとBコースでそれぞれ1回ずつ走行を行いベストタイムを結果とします。1回目に好タイムを出した人はさらなるチャンスが、残念ながらゴールできなかった人ももう1回チャンスがあります。待機ゾーンでは先行して走る車の様子が気になりますね。見学者もコースの外からレース展開を見守ります。



スタート直前！



ラインの手前で準備完了



ジュニアクラス待機中



速い！



競技を見守る見学者のみなさん



出走コースをチェック

レース本番

本大会の最年少は3歳の小さなお子様。このようにアイデアカーフェスタは子どもから大人までどなたでも楽しめる大会です。なにより、年齢にかかわらず、自分で組み立てて色を塗ったり装飾を施したり、速く走れる工夫をしたりすることで自分の車に愛着がわきますね。どの車がどんなパフォーマンスを見せてくれるか、スタッフも期待が膨らみます。



24mのコースを走ります



どんなタイムができるか楽しみだな！



スタート位置も重要ポイントか？！



キットカー 一般クラス待機エリアの様子



オープンクラスの出走

レース結果 表彰式



キットカー キッズクラス

優勝	32	矢野 慈門	ファルコン号	6.07 s
準優勝	21	和田拓士	アウストロベナトル	6.43 s
3位	29	吉原 奈央	ヘルガ号	6.80 s



キットカー ジュニアクラス

優勝	49	大久保晴貴	ハルキング3号	4.50 s
準優勝	82	廣瀬 大	隼改	4.51 s
3位	53	加納 大輝	稲妻マックイーン号	6.52 s

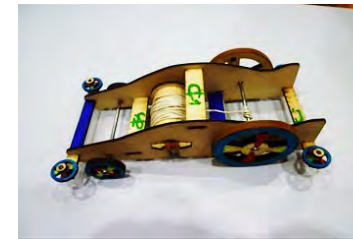


レース結果 表彰式



キットカー 一般クラス

84 川崎 宇宙	RX-7 Sora Special	5.28 s
83 藤沼 歩睦	さくら号	6.03 s
91 櫻木 求	M1号	6.70s



オープンクラス

102 川崎 善弘	DeLorean 午後10時04分	5.24 s
99 山口 和彦	SPARK号	7.57 s
96 猪瀬 善登	坂東太郎	8.15 s



表彰式



デザイン賞

- | | | |
|----|-------|-------------------|
| 14 | 大宮 周 | go! go!ハロウィン |
| 44 | 小俣 奏斗 | 稲妻カナッチ号 |
| 75 | 小俣 快斗 | カイッチ号 |
| 84 | 川崎 宇宙 | RX-7 Sora Special |



特別賞

- 8 大越 すみれ すみれ号



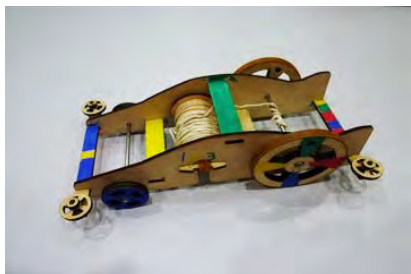
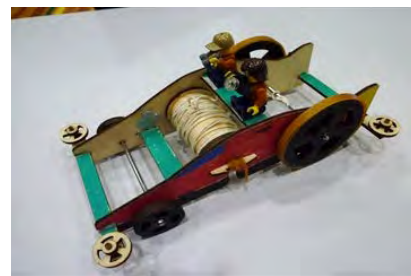
アイデア賞



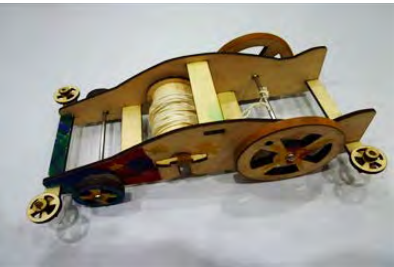
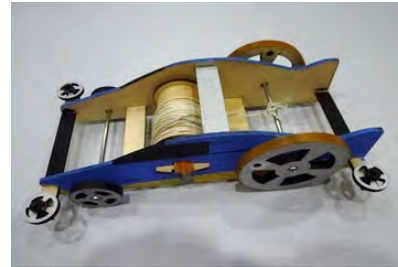
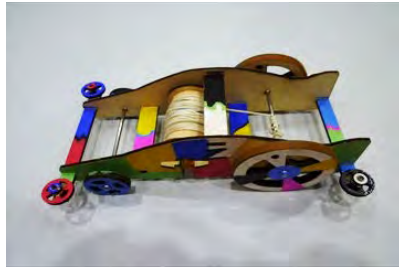
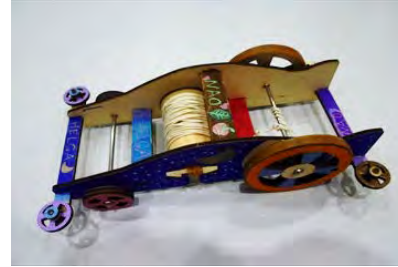
96 猪瀬 善登 坂東太郎



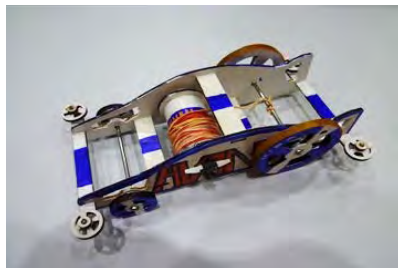
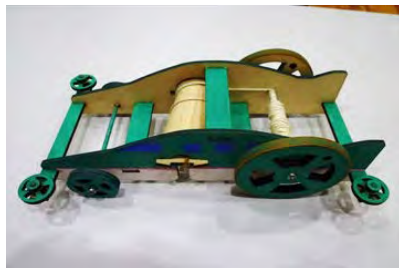
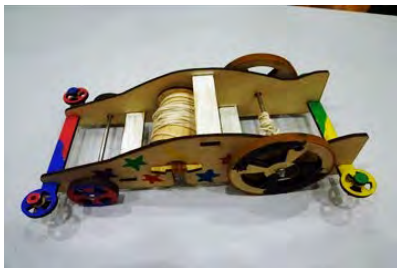
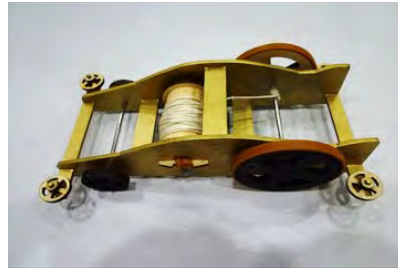
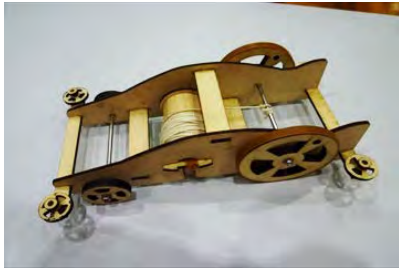
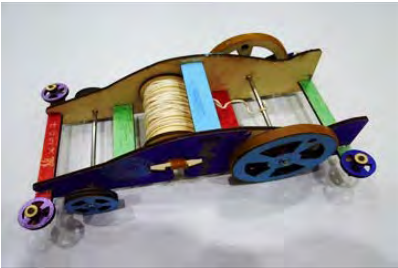
出場した車輛 キットカークラス



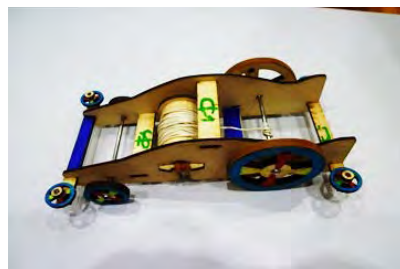
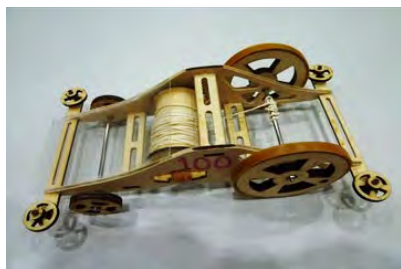
出場した車輛 キットカークラス



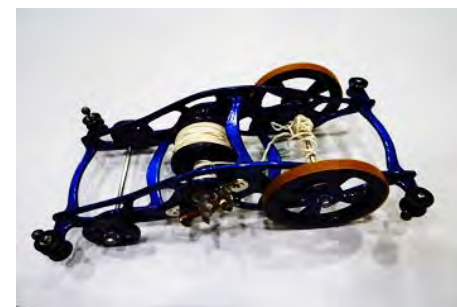
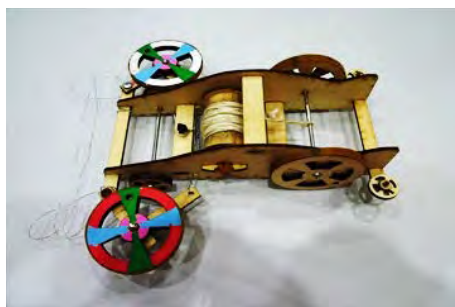
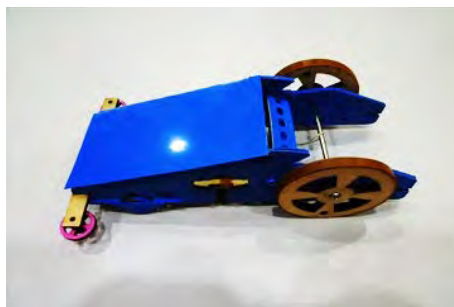
出場した車輛 キットカークラス



出場した車輛 キットカークラス



出場した車輛 オープンクラス



おわりに

猛暑も過ぎ、心地よい気温の中、3時間にわたる熱いレースが繰り広げられました。「速い車は音が違う！」というのが大会終了後のコース担当スタッフの感想です。いったい車輛の何が違うのでしょうか？その秘策は？どのような展開になるか誰も予想がつかなかった脅威のタイム樹立。おそらく改善に改善を重ねて製作に取り組んだことが結果につながったにちがいありません。また入賞にいたらなかった参加者も装飾に凝ったり、糸の巻き方を工夫したりと、参加者の皆様にもものづくりを楽しんでもらえたと思います。10年の節目を迎えた本年度のアイデアカーフェスタも大勢の方に陽東キャンパス体育館へ詰めかけていただき、無事大会を終了することができました。心よりお礼申し上げます。唯一参加の高校生も「この大会を楽しみに待っていたと笑顔で帰宅の途につきました。



またのチャレンジを心からお待ちしています。

会場のシーン

本大会の最年少は3歳の小さなお子様。このようにアイデアカーフェスタは小さなお子様から大人までどなたでも楽しめる大会です。なにより、年齢にかかわらず、自分で組み立てて色を塗ったり装飾を施したり、速く走れる方法を考えたりすることで自分の車に愛着がわきますね。会場では参加者の皆様から素敵な笑顔をいただきました！



